令和6年度の重点課題

○ 新体カテストの総合評価のAB率 40%、 DE率25.7%である。【(AB-DE)率14.3%】

〇 男子

「ボール投げ」について、県平均値、全国平 均値より下回っている。

「長座体前屈」について、県平均値、全国平均値を上回っているが、久井中学校としてこの2種目を強化していきたい。

〇女子

「ボール投げ」について、県平均値かつ全国 平均値より下回っているため、投力に課題が ある。

上記の課題を受けて具体的に 取り組んだ事項

〇「長座体前屈」

毎時間の体操とストレッチの時間を確保し、継続的に取り組んだ。

〇「ボール投げ」

球技の授業において、ボール投げの運動を 継続的に取り入れて、ボールを投げる習慣を 身に付けた。

○校内球技大会の取組において、ボールを しっかり投げられるよう、投動作の仕方を指 導した。

○自校の体力・運動能力の状況を全職員に 周知し、部活動などでも積極的にボールを投 げるために必要な筋力や巧緻性を高めるト レーニングの実施を促した。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起
第2学年		23.78			71.63						第2学年	22.11	17.3

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

ŀ																						
ŀ	男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
ŀ	第2学年	23.67	23.78	44.78	50.00	71.63		8.05	189.44	20.25	39.14	第2学年	22.11	17.33	47.89	41.33	45.00		9.33	169.56	11.11	43.38

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

 男子
 好き
 やや好き
 やや嫌い
 嫌い
 女子
 好き
 やや好き
 やや嫌い
 嫌い

 第2学年
 70.00
 20.00
 10.00
 0.00
 第2学年
 44.44
 33.33
 22.22
 0.00

学校独自の意識調査

重点課題

情意面での課題

〇男子

・運動やスポーツをすることが嫌いと答える生徒の割合が10.00%である。(前年度0%)

〇女子

・運動やスポーツをすることが嫌いと答える生徒の割合が22.22%である。(前年度0%)

体力面での課題

〇男子

・すべての種目において、県平均値かつ全国平均値を下回っている。 〇女子

・「長座体前屈」、「立ち幅跳び」以外の種目において、県平均値かつ全国 平均値を下回っている。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○運動やスポーツをすることが好きな生徒を増やす。

実施していない

→継続的に自ら活動内容を選択し、積極的にスポーツに関われるようにしていきながら、主体的に活動することで、運動 やスポーツをすることが好きな生徒を増やす。

○自身の体力結果をもとに分析させ、課題解決に向けて運動計画を作成する。

○「ボール投げ」→「球技」等の領域において、ウォームアップの際に投げる運動を取り入れる。

O「20mシャトルラン」→ 陸上競技(長距離走)の領域において、個人の目標を明確に設定させ、継続的に持久力を高められるような意識付けを行う。

体育の授業以外で行う取組内容

・投動作を身に付けるために、学校行事に球技を取り入れることで、楽しみながら投力の向上に取り 組んだ。

・自校の体力・運動能力の状況を各教員に周知し、部活動などでも積極的にボールを投げるために 必要な筋力をつけるトレーニングを実施する。

・全生徒を対象とした意識調査を実施する。

令和8年度の 重点目標値

- 運動やスポーツをすることが好きと答える生徒の割合を、男子は90%、女子は80%にする。
- 〇 「ボール投げ」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
- 「20mシャトルラン」については、前回の平均値を上回るようにする。(冬に再度記録を測定)
- 「ボール投げ」「20mシャトルラン」について、これからも取組を継続していく。